

研修用資料「キャリア教育の視点で」

◎ 年間指導計画を「キャリア教育」の視点で見直そう

(1) キャリア教育で育成すべき力とは

「基礎的・汎用的能力」(分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力)として、次の4つの能力があります。

【基礎的・汎用的能力】

4つの能力	概要	具体的能力
人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分のおかれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することのできる力	他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善
キャリアプランニング能力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善

(2) 自校の学習活動を「キャリア教育」の視点で洗い出してみましょう

- 基礎的・汎用的能力の【4能力】の視点で、年間指導計画の指導事項や活動内容を分類してみましょう。

〈方法〉

◇ 4能力を、以下の色のラベルカラー丸シールに分けて、貼っていく

- ・ 人間関係形成・社会形成能力… 赤
- ・ 自己理解・自己管理能力 … 青
- ・ 課題対応能力 … 緑
- ・ キャリアプランニング能力 … 黄

※ 1つの項目でも、複数シールを貼ることができます。(柔軟な視点で!)

各能力を色分けして、年間を通して俯瞰すると、4能力のバランスやつながりが視覚的に捉えられるようになります。

(3) 自校の学習活動を「キャリア教育」の視点でつないでみましょう

①各月と4能力のマトリクスで、バランスやつながり、系統性を確認しましょう。

- ・ワークシート1を活用

○キャリア教育は特別なものではなく、日ごろの教育活動の中で日常的に行われていることが実感できます。

○4能力が偏っていないか確認し、指導内容を工夫してバランスの良い指導を実践することができるようになります。

②教科等と4能力のマトリクスで、バランスやつながり、系統性を確認しましょう。

- ・ワークシート2を活用

○各教科で行っている教育活動が、キャリア教育としてどのようにつながっているのか、具体的にイメージすることができます。

○教科間のつながりを意識して、お互いに情報交換をすることを通して、より目的に沿った指導を実践することができるようになります。

(4) 演習を振り返って

新たに発見したことや今後の展望 等